

単元名:カードで覚える友好都市					
科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	地域社会と世界	言語レベル	1	必要時間数	8時間
I 単元目標					
<p>自分が住んでいる街の友好都市である韓国の街について調べ、それぞれを紹介する「日本カード」「韓国カード」を作ることを通して、日韓の都市の共通点や相違点について理解を深めることができる。</p>					
	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外
わかる					
できる					
つながる					
言語領域		文化領域		グローバル社会領域	
<p>◆友好都市についての資料を読むことができる。 ◆わかりやすく簡単な文章でアイテムカードを作成することができる。 ◆日韓の都市や施設、特産物や行事などのアイテムを口頭で簡単に紹介することができる。</p>		<p>◆韓国の歴史、政治、行政、地域社会等のしくみやごく基礎的な事項について知り、日本との違いを理解する。 ◆韓国の大都市や世界の国名と、その地名が持つ意味や由来についての理解を深めることができる。 ◆日本の首相と韓国の大統領、県知事と道知事、市長なども比較し、日韓の行政のしくみについて理解することができる。 ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>		<p>◆グループで紹介カードを分担・作成することができる。(協働) ◆韓国の友好都市や地元の事物を調べて、カードに作成すべきアイテムを選択することができる(高度思考) ◆ビジュアルで見やすい提示・説明のしかたを工夫することができる。(情報活用) ◆カードをスキャンしてネットに掲載する(情報活用) ◆歴史的に自分の町や周りの地域が朝鮮半島とどのような関わりをもってきたのかを考えることができる。(知識理解、高度思考) ◆日韓の地方自治体間の友好提携関係に着目し、日本と韓国の地方レベルでの関わり方について理解することができる。(知識理解、高度思考) ★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	
コミュニケーション能力指標		<p>【地域社会と世界】 1-a. 自分の住んでいる町や都市と国の名称を、言ったり書いたりできる。 1-b. 自分の住んでいる町の施設(映画館、図書館、体育館、公園など)の有無や利用できる曜日と開始時間・終了時間について、口頭でやりとりできる。 1-c. 相手の国の主な都市名や世界の主な国名を、言ったり、見て理解したりできる。 1-e. 自分の住んでいる町や都市の、有名な場所や食べ物などを、言うことができる。 ★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。 数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>			
II 評価					
学習を助けるための評価 (形成的評価)			目標達成度を測る全体的評価 (総括的評価)		
<p>◆町の名前や学校、身近な施設を記入したカードを作る。(表記の正しさ) ◆日本と友好都市交流を結んでいる都市を韓国の白地図に書き込む。(情報の正しさ、表記の正しさ)</p>			<p>◆クイズカードを作る。(説明の簡潔さ、わかりやすさ、内容の興味深さ) ◆振り返りのレポートを書く。(韓国語の語彙・表現の量、内容理解の正確さ、文化への気付き等)</p>		

